

健康への

メッセージ

シリーズ 133

P E T 検 査

光町のみなさんこんにちは。今回はペット（PET）についてのお話です。「ペット」といっても犬や猫のことではありません。PETとは「ポジトロン断層撮影法」と呼ばれる新しい検査法です。以前にもありましたが、後に述べる事情から特殊な施設でしか使用できなかったためその普及が遅れていました。しかし、平成16年10月より近隣の総合病院にPET装置が導入されて検査が可能となりました。

PET検査はX線CTに似た装置で、心臓や脳などの動きを断層画像（縦、横方向とも可能）として描出し、病気の原因や臓器の状態を捉えることができます。検査はポジトロンという陽電子を放出する薬剤（放射性同位元素）を静脈内に投与し、薬が体内を移動し各臓器に集まる様子を、体外からPET装置で撮影します。薬剤を選ぶことにより多くの疾患の診断が可能となります。この際に一番大事な薬剤ですが、いわゆる半減期（寿命）が短く、サイクロトロンと呼ばれる院内の専用の施設で作られます。例えば心臓の血流を調べる際の窒素の同位元素は、半減期が約10分で、30分で八分の一に減少します。遠くの施設で作って

は悪性腫瘍の診断に有用とされていることです。癌細胞は正常の組織よりも分裂が盛んに行われる為に多くのブドウ糖が必要です。そこで体外よりブドウ糖に標識した薬剤を注入すると悪性腫瘍の部位に薬剤が集まります。しかも30分くらいの間に全身を撮影できるのです。PET検査が癌の早期発見に役立つという可能性があり、しかし腎臓や膀胱などではもともと薬剤が排泄される部位のために診断が困難です。消化管などの管腔臓器の早期診断もPETでは困難で、超音波検査やCT検査、内視鏡検査と組み合わせたPET検査が推奨されます。

PET検査では使用する同位元素が放射線を出しますので放射線被曝が起きますがその量は少量であり、PETとCTを同時に行った場合でも通常の胃X線検査程度です。

PET検査は、てんかんや虚血性心疾患、十種類のガン（肺、乳腺、大腸、頭頸部、脳、脾臓、悪性リンパ腫、転移性肝癌、原発不明癌、悪性黒色腫）では一定の条件を満たす場合に健康保険で受診可能ですが、一回の検査に3割自己負担で2万円位かかります。主治医の先生と良くご相談してください。なお、個人の希望によるPET検査は通常のドックの費用に8万円位追加となるそうです。人間ドックなどの申し込みは国保旭中央病院PET画像診断センター（☎0479-63-3333）に直接ご連絡してください。

は間に合いません。
PET検査は、脳内の血流分布から局所の機能が測定できます。心臓では心筋梗塞の部位の診断が可能となります。一番注目されているの

お知らせ
※相談窓口開催日 14日(金) 午前9時～正午
※救急当番日 3日(月)、10日(月) 午前8時30分～午後6時
医師2名が待機。来院の際はお電話を ☎1335



こども映画会

『トウイーティーの フライング・アドベンチャー』

日 時 1月23日(日) 午前10時・午後2時の2回上映
場 所 図書館2階ハイビジョンホール
定 員 各回120名
場 整理券(無料)を1月8日(土)から図書館カウンターで配布します。



＝町立図書館＝
☎3311

特別整理期間のお知らせ

1月31日(月)～2月4日(金)

館内資料の整理点検作業のため休館します。本を返却する場合は、返却ポストをご利用ください(返却ポストは玄関左奥にあります)。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

休館日

12月29日(水)～1月4日(火)、10日(月)、17日(月)、24日(月)、31日(月)～2月4日(金)